

『文豪ノ怪談 ジュニア・セレクション 霊』

星 新一・室生 犀星 ほか 著
汐文社



なかなか昇進できない男が、出張先で不気味な黒い影「あれ」を目撃する。それから間もなく昇進が決まった。この会社では、「あれ」を見た者が昇進できるという決まりになっていたのだ。しかし…。(星新一「あれ」より)

7人の文豪たちによる、不思議で怖い話を収録した短編集。

『中高生からの選挙入門』

谷 隆一 著
ペリかん社



選挙に行こうー。選挙があるとよく聞かれる言葉ですが、実際には、有権者のうち約半数しか選挙に行きません。

この本では、選挙の原則や投票の仕方からメディアと政治の関係まで、選挙について分かりやすくまとめています。

みなさんもこの本を読んで、選挙について考えてみませんか？

このリストは、図書館の職員が、中学生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館 北品川 2-3-2-3 ☎3471-4667

二葉図書館 二葉 1-4-2-5 ☎3782-2036

荏原図書館 中延 1-9-1-5 ☎3784-2557

南大井図書館 南大井 3-7-1-3 ☎3761-6780

源氏前図書館 中延 4-1-4-1-7 ☎3781-6273

ゆたか図書館 豊町 1-1-7-7 ☎3785-6677

大井図書館 大井 5-1-9-1-4 ☎3777-7151

五反田図書館 西五反田 6-5-1 ☎3492-2131

大崎図書館 北品川 5-2-1 ☎3440-5600

八潮図書館 八潮 5-1-0-2-7 ☎3799-1414

大崎駅西口
図書取次施設 大崎 2-1-1-1 大崎ウィズシティテラス2階
☎5487-6551

休館(所)日、開館(所)時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2018 . 10 発行

Let's Read!

中学生



『僕は上手にしゃべれない』

椎野 直弥 著
ポプラ社

品川区立図書館

『木の中の魚』

リンダ・マラリー・ハント 著
中井 はるの 訳 講談社

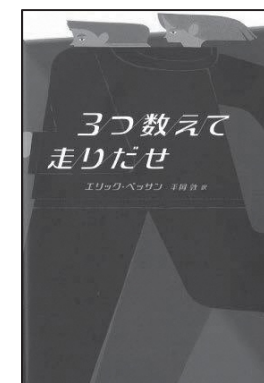


アリーは読み書きができず、周囲に頭の悪い子だと思われ、自信の持てない日々を送っていた。

しかしある時、新任のダニエルズ先生と出会い、特別な勉強法を教わりながら少しずつ文字を覚えていく。そして転校生のキーシャや変わり者のアルバートとの出会いも、アリーを変えていき…。

『3つ数えて走りだせ』

エリック・ペッサン 著 平岡 敦 訳
あすなろ書房



トニーとアントワーヌは、3つ数えて走り出した。トニーには悲しみが、ぼくには怒りがあった。

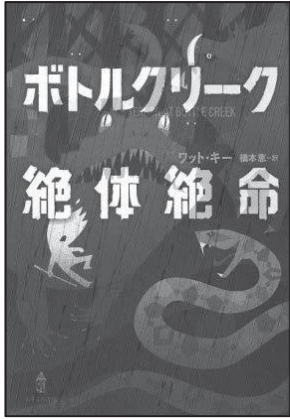
二人は、ひたすら真っ直ぐ走り続けた。ぼくたちは、川を渡り、空を飛ぶ鳥や流れる雲を眺めた。

はたして、二人が走る先にあるものとは…。

『ボトルクリーク絶体絶命』

ワット・キー 著 橋本 恵 訳
あすなる書房

13歳のコートは、遺跡の案内をするリバーガイドの父の手伝いをしていた。ある日、巨大ハリケーンがやって来て、友人ライザの妹フランシーがいなくなった。コートとライザは必死で探すが、荒れ果てた沼地の高台には、獣たちが集まっていた。絶体絶命の中、生き残りをかけた戦いが始まる。



『絵物語 古事記』

富安 陽子 文 山村 浩二 絵
三浦 佑之 監修 偕成社

日本最古の歴史書『古事記』のうち、上巻に収められた神々の物語を、絵物語として紹介しています。三種の神器、草薙の剣で知られるヤマタノオロチとスサノオのおはなしなど、たくさんの神様のおはなしが入っています。



『僕は上手にしゃべれない』

椎野 直弥 著
ポプラ社

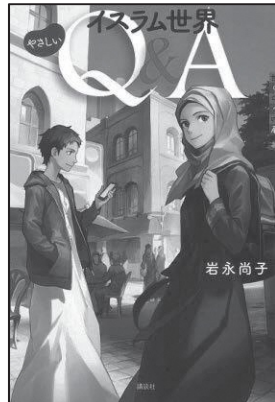
言葉がうまく出てこない悠太は、中学の入学式、自己紹介が言えなかった。その日の帰りに受け取った放送部の勧誘のチラシには「練習すれば、上手にはっきりと声を出せるようになります」と書かれていた。吃音をもつ悠太は治したい一心で入部する。



『イスラム世界 やさしいQ&A』

岩永 尚子 著
講談社

現在、世界の4人に1人がイスラム教徒と言われています。この本では、イスラム社会のお祈りやおもてなしの仕方、断食や巡礼、結婚や難民問題などについて、Q&Aでやさしく書かれています。この本を読んで、イスラムについて、知らないという「恐怖心」を「好奇心」に変えてみましょう。



『パンツ・プロジェクト』

キャット・クラーク 著 三辺 律子 訳
あすなる書房

リヴは小さいころに自分の性別に違和感を覚え、女の子らしくふるまわなければならないことに激しい嫌悪感をもっていた。女子はスカート、男子はズボン。でもそれは誰が決めたの？ 校則に疑問を持ったリヴは、友人のジェイコブと共に、制服改革のために立ち上がる。



『わたしがいどんだ戦い1939年』

キンバリー・ブルベーカー・ブラッドリー 作
大作 道子 訳 評論社

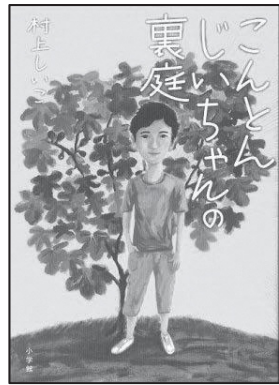
1939年、第二次世界大戦のさなかのロンドンで、生まれつき足に障害のあるエイダは、母親から外出を禁じられ、虐げられる生活を送っていた。しかし、町中の子どもが田舎へ学童疎開する時、エイダは弟と家から逃げ出す。過去のトラウマから人の愛を信じられなくなっていたエイダだったが、疎開先で人々の優しさに触れるうちに…。



『こんとんじいちゃんの裏庭』

村上 しいこ 作
小学館

認知症のじいちゃんが、こっそり家から逃げ出して交通事故に遭い、意識が戻らなくなった。しかし、加害者からは、損害賠償を請求されてしまう。納得のいかない悠斗は、事故の真相を突き止めようと走り出す。真相に近づいた時、悠斗の心には変化が…。



『ラブリィ！』

吉田 桃子 著
講談社

映画監督になりたい中学二年生の井出拓郎は、自身が作成した映像で、コンクール審査委員特別賞を受賞する。しかし「主演のブス女優がすばらしい。ラブリィ！」という講評を受けてしまう。美しいとは何か、人はなぜ見た目で判断するのか。見た目について考え始めた拓郎が、周りと触れ合う中で見えてきたものとは…。

